

アドソル日進株式会社 会社説明資料

東証プライム 3837



みなさんはいつ、スマホを充電しましたか？

なぜ、コンセントにプラグを差しこんだら
電気が流れるのだろうか？

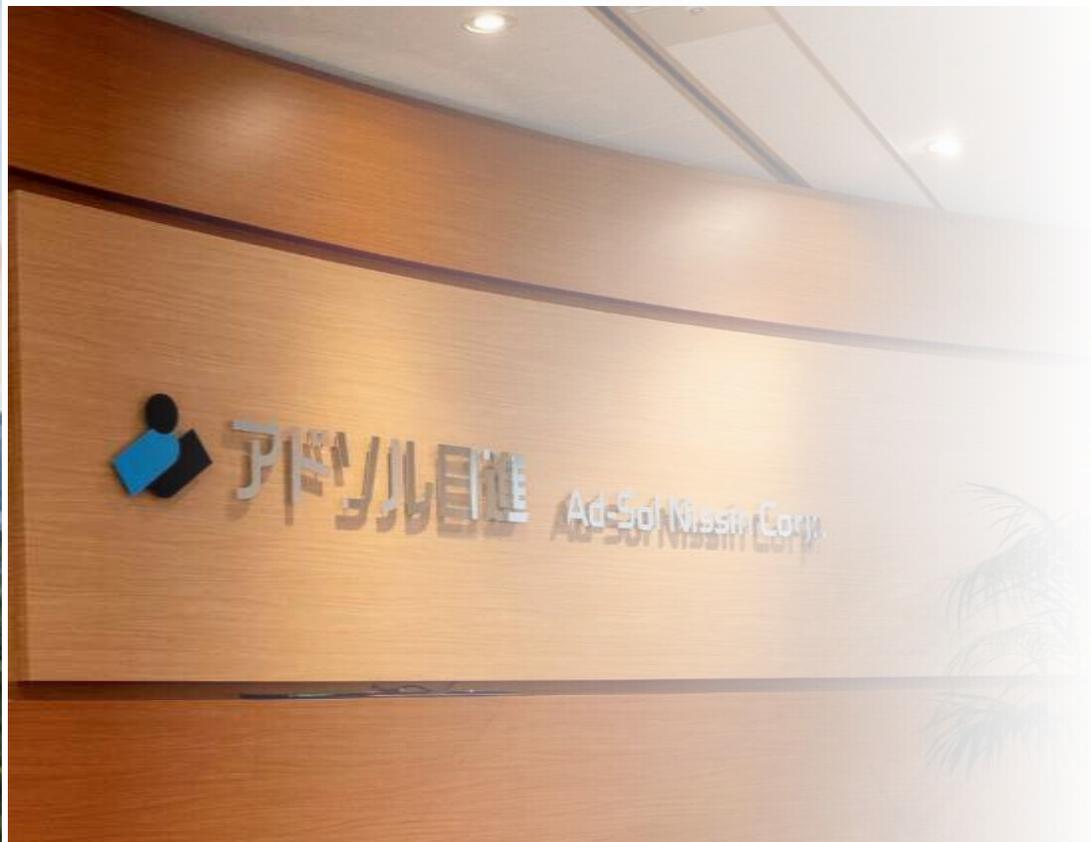
そんなことを考えたことはありますか？



わたしたち、アドソル日進は

**電化・デジタル化された
未来社会のインフラを
ICTシステムで支える会社**

Company Profile -会社概要-



社名	アドソル日進株式会社
設立	1976年3月13日(創業48年)
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三 代表取締役社長 兼 COO 篠崎 俊明
従業員数	連結 645名(2024年4月1日現在)
上場市場	東証プライム 3837
グループ会社	アドソル・アジア株式会社 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. Techzen Co., Ltd.

【拠点】グローバル・ネットワークで高品質なICTシステムを提供

＼2023年4月 オープン／

名古屋オフィス

九州支社



関西支社



東京本社
アドソル・アジア



仙台開発センタ



サンノゼ
R&Dセンタ



★ Lynx Software
Technologies

ホーチミン



★ Individual Systems

ダナン



★ United Technologies
Corporation
★ Techzen

ハノイ



★ 3S Intersoft JSC

会社

設立年数



48年

2024年5月現在

従業員数



645名

2024年4月1日現在

パートナー企業数



153社

2023年3月期

業績

売上高



140億円

2024年3月期

営業利益



14億円

2024年3月期

ROE



14.3%

2024年3月期

技術

資格取得数

社員1人あたり



5.7資格

2024年5月現在

特許数



23件

2024年5月現在

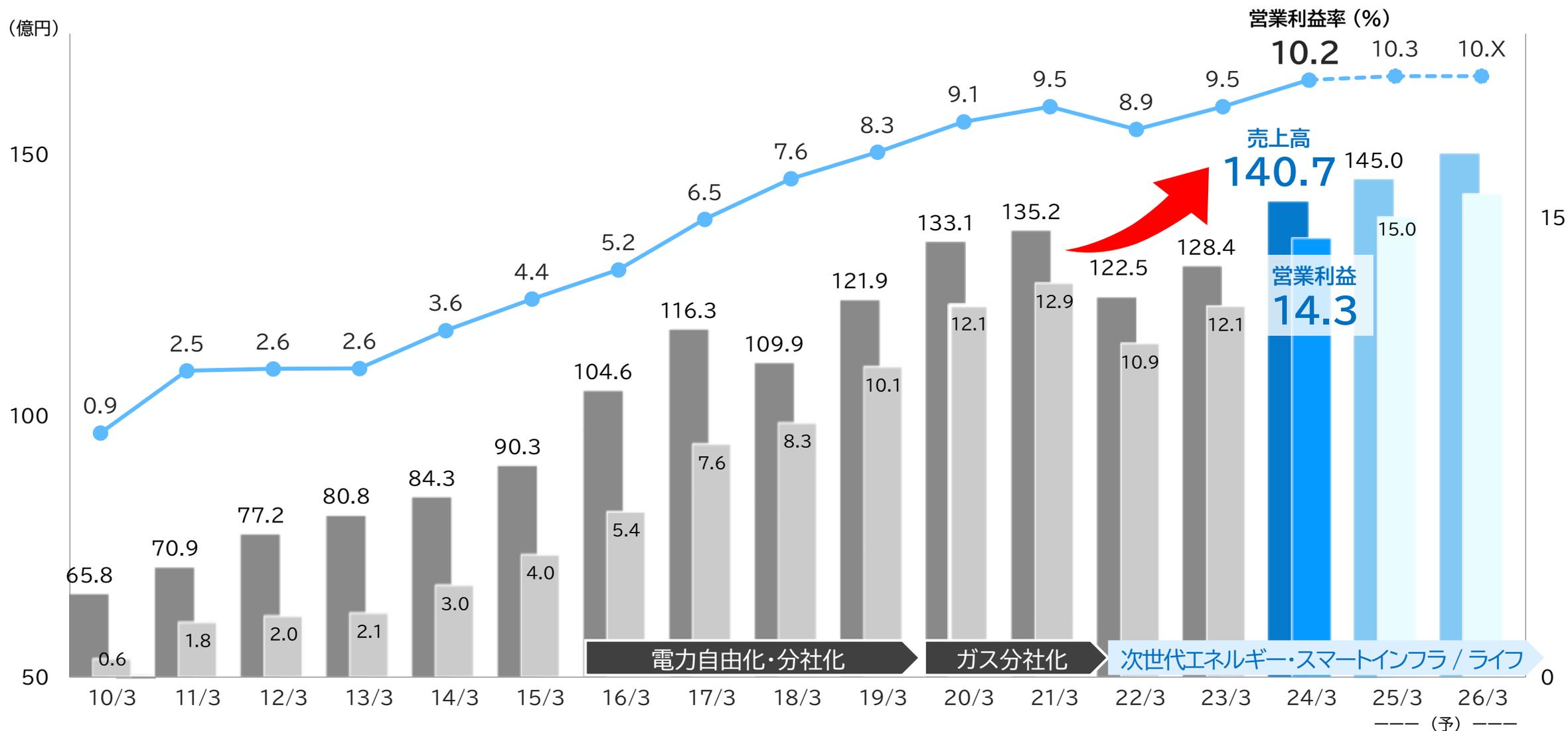
産学連携



5大学

2024年5月現在

2024年3月期 最高売上高・最高利益・最高利益率を更新



通期: 最高売上高・最高利益・最高利益率の連続更新へ
中計で掲げる営業利益目標を前倒しで達成予定

- ・2024年3月期を上回る戦略投資を予定
- ・コスト増加分を吸収し、上期・通期ともに最高売上・最高利益の連続更新へ

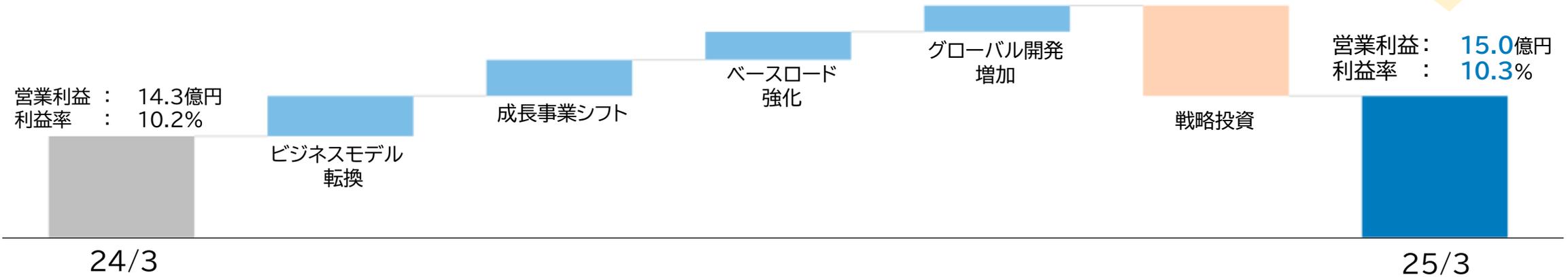
戦略投資: 上期…本社プロジェクトルーム増床、九州支社移転(イニシャルコスト)、ベトナムオフショア開発体制、新卒入社
 下期…人材育成、九州支社移転(ランニングコスト)、新社内システム構築

(単位:百万円)	2024/3期 実績		2025/3期 業績予想		通期予想 増減額	通期予想 増減率(%)
	上期	通期	上期	通期		
売上高	6,835	14,078	7,000	14,500	421	3.0
営業利益	709	1,437	720	1,500	62	4.3
営業利益率 (%)	10.4	10.2	10.3	10.3	-	-
経常利益	739	1,485	740	1,540	54	3.7
経常利益率 (%)	10.8	10.5	10.6	10.6	-	-
当期純利益	481	979	485	1,010	30	3.2
当期純利益率 (%)	7.0	7.0	6.9	7.0	-	-

事業拡大に向けて：取り組み方針

2025年3月期の成長ポイント・戦略投資と、利益の相関(イメージ)

2030年以降の
成長加速へ!



成長 ポイント	<p>①ビジネスモデルの転換 : ・上流工程(コンサルティング)シフト ・ソリューションビジネス 拡大 (GIS:地理情報システム他、新ソリューション展開) ・アライアンスビジネス 拡大</p> <p>②成長事業へのシフト : ・次世代エネルギー(スマートグリッド、VPP他) ・スマートインフラ/ライフ(モビリティ、レジリエンス、エネルギー)</p> <p>③ベースロードの強化 : ・DX/モダナイゼーションビジネス 拡大 ・契約条件改定 ・エリア戦略(名古屋、福岡)</p> <p>④グローバル開発増加 : ・オフショア開発(ベトナム・ダナン開発センター)</p>
戦略投資	<p>①人材 : 最新技術習得、リスクリング(コンサルティング、プロジェクトマネージャ他)、処遇改定、採用(新卒、経験者)</p> <p>②ソリューション : 新ソリューション創出・拡充、販売網強化(GIS:地理情報システム、IoT空間情報)</p> <p>③グローバル : ベトナム・ダナン開発センター対応力強化、高度IT人材育成(ベトナム1,000名体制へ)</p> <p>④R&D : AI、開発モデル等(米国サンノゼ・R&Dセンター、AI研究所(社内R&D組織)、産学連携、国立研究機関他)</p> <p>⑤オフィス : 移転・リニューアル(九州支社他)、増床(開発プロジェクトルーム)</p> <p>⑥プロモーション : マーケティング、セールス、ブランド</p>

01 安定成長



- 幅広い領域での事業展開
- 電力分野を中心に安定成長

02 グローバルアライアンス



- ビジネス領域でのアライアンス
- ベトナムでの高度IT人材育成

03 累進・連続増配



- 15期連続増配
- 配当性向 40%以上

01 安定成長



- 幅広い領域での事業展開
- 電力分野を中心に安定成長

02 グローバルアライアンス



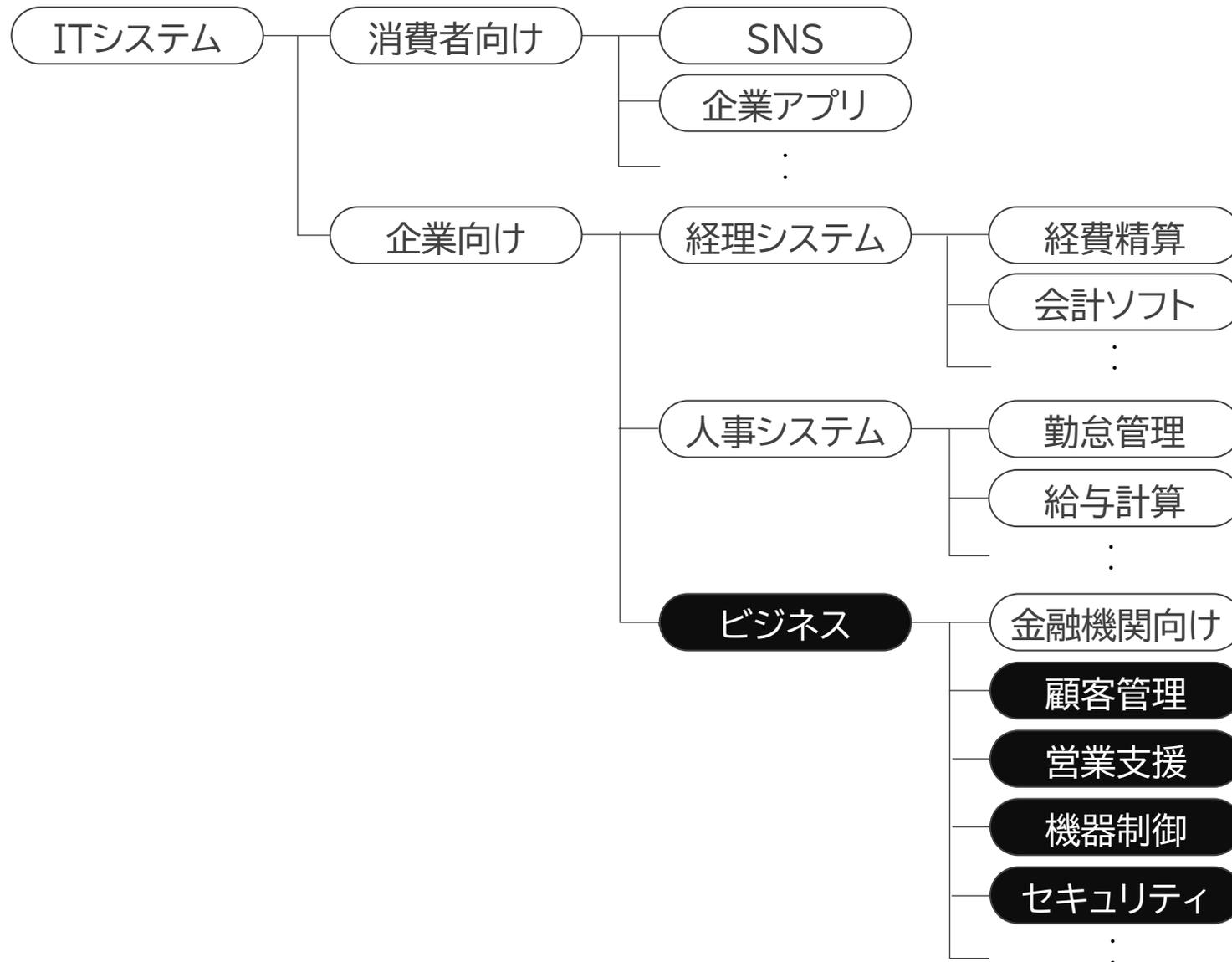
- ビジネス領域でのアライアンス
- ベトナムでの高度IT人材育成

03 累進・連続増配



- 15期連続増配
- 配当性向 40%以上

IT企業 アドソル日進の対応領域

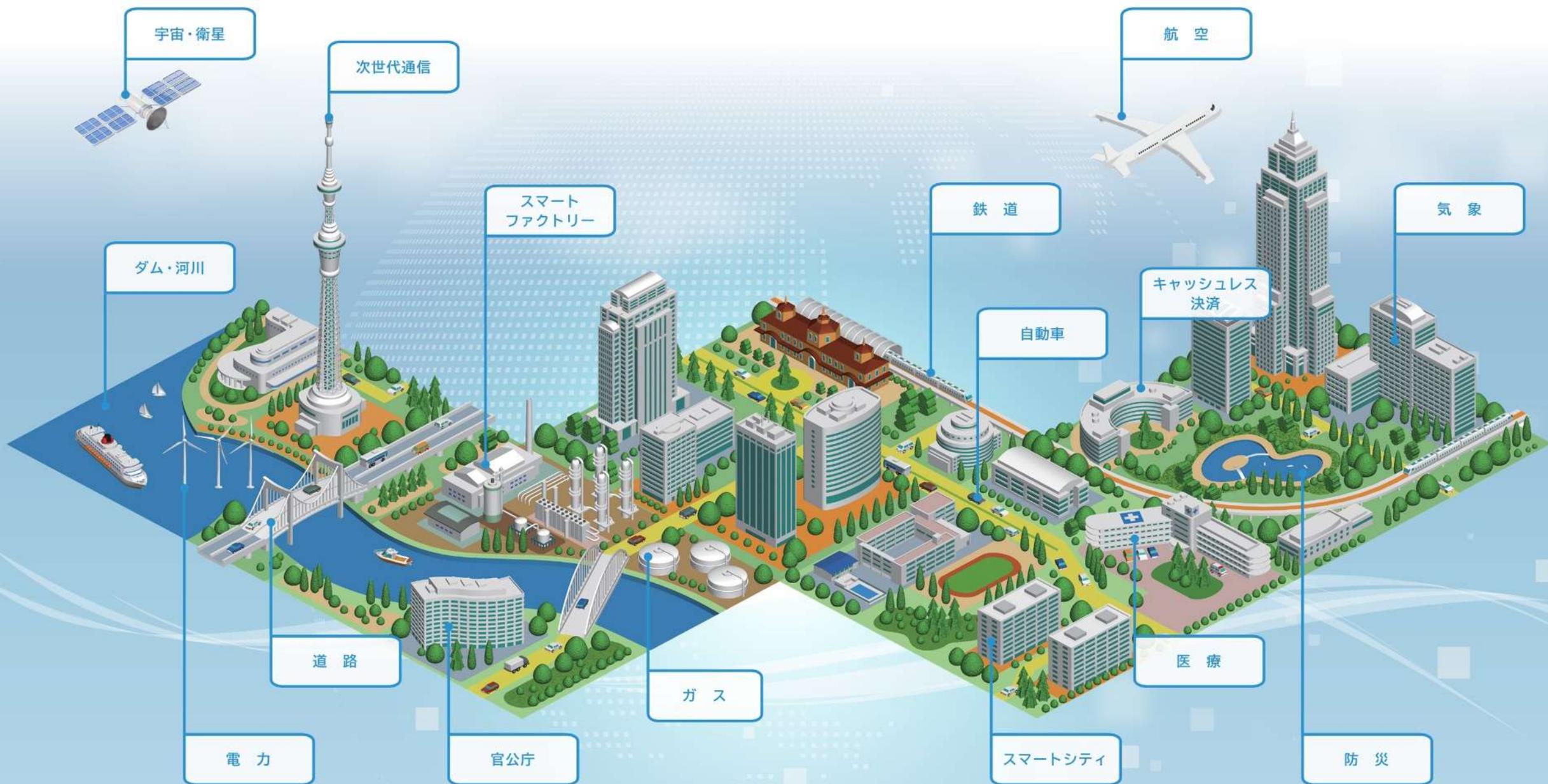


特に電力!!

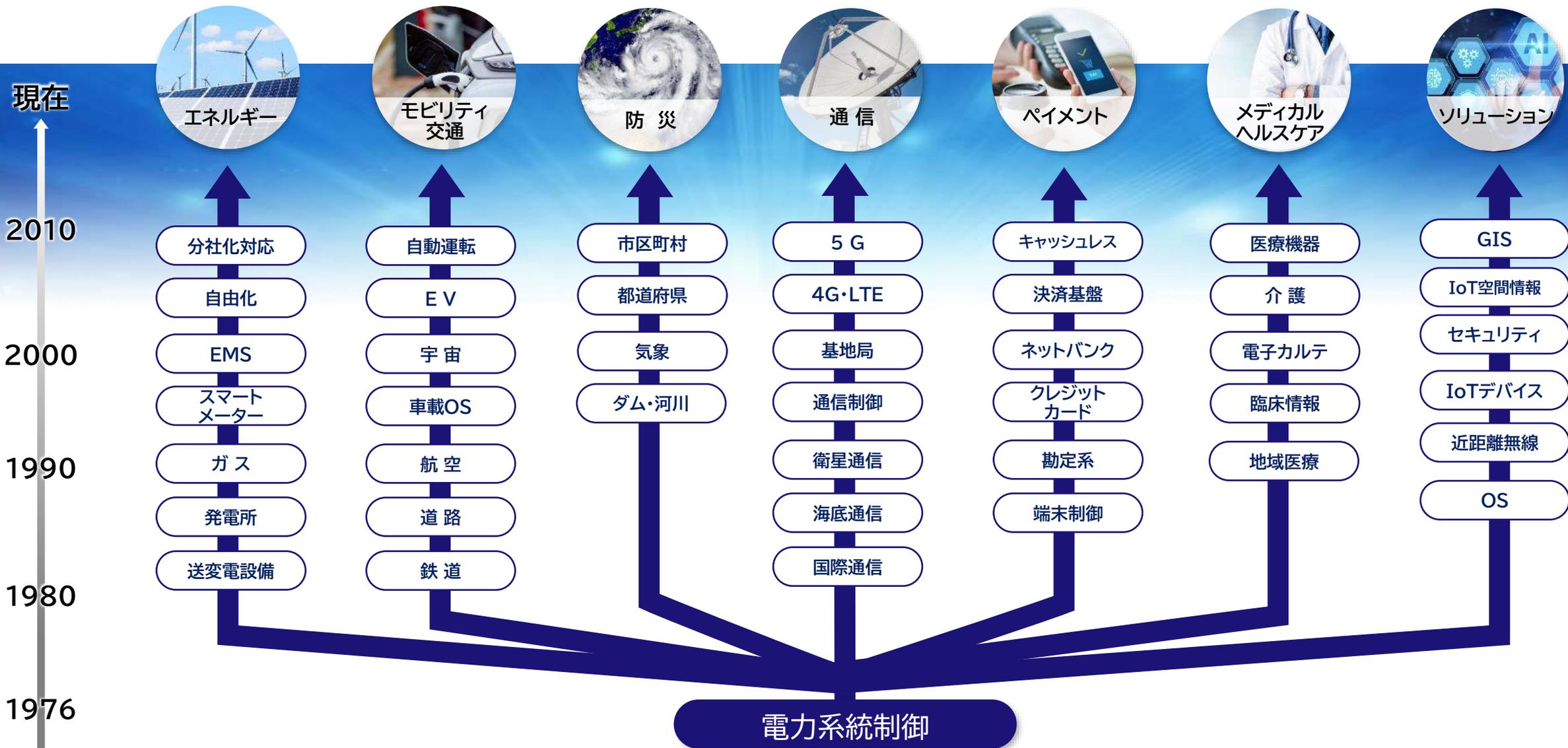
アドソル日進の対応領域

電力・ガス・交通、通信など
人々の生活を支える
社会インフラ領域

幅広い領域における事業展開



事業領域の拡大と進化



電力系統制御

現在

2010

2000

1990

1980

1976

エネルギー

モビリティ
交通

防災

通信

ペイメント

メディカル
ヘルスケア

ソリューション

分社化対応

自由化

EMS

スマート
メーター

ガス

発電所

送変電設備

自動運転

EV

宇宙

車載OS

航空

道路

鉄道

市区町村

都道府県

気象

ダム・河川

5G

4G・LTE

基地局

通信制御

衛星通信

海底通信

国際通信

キャッシュレス

決済基盤

ネットバンク

クレジット
カード

勘定系

端末制御

医療機器

介護

電子カルテ

臨床情報

地域医療

GIS

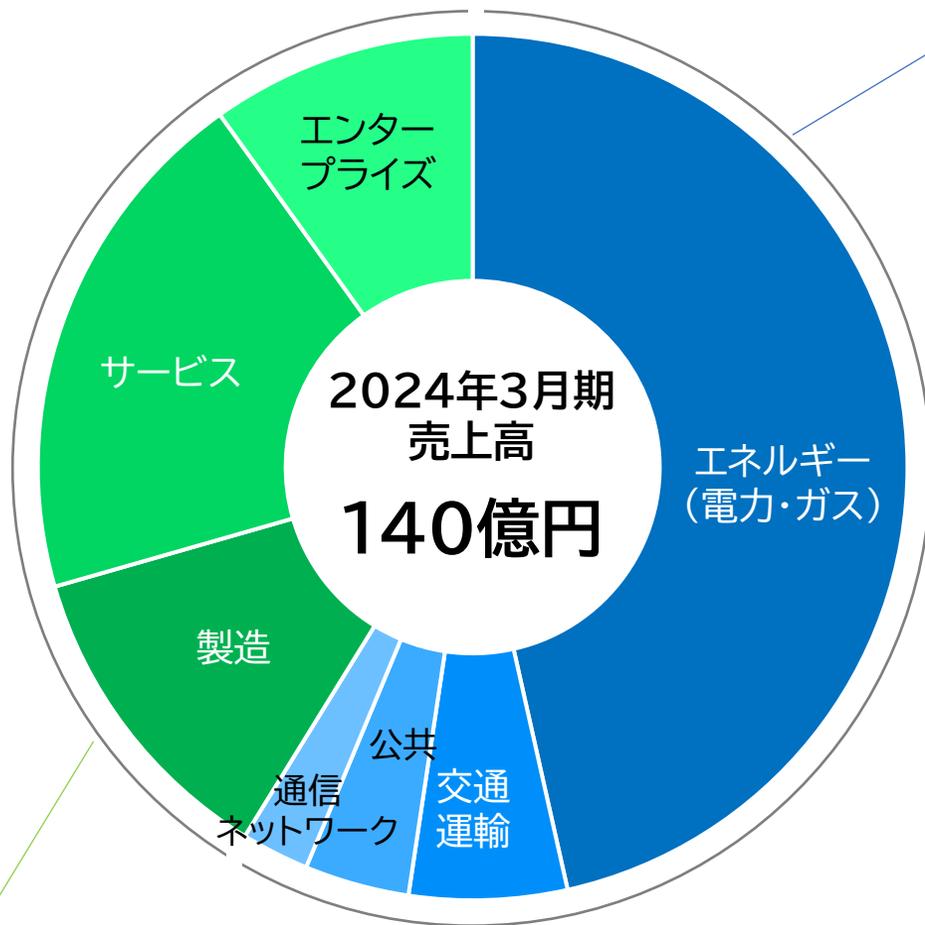
IoT空間情報

セキュリティ

IoTデバイス

近距離無線

OS



社会インフラ事業

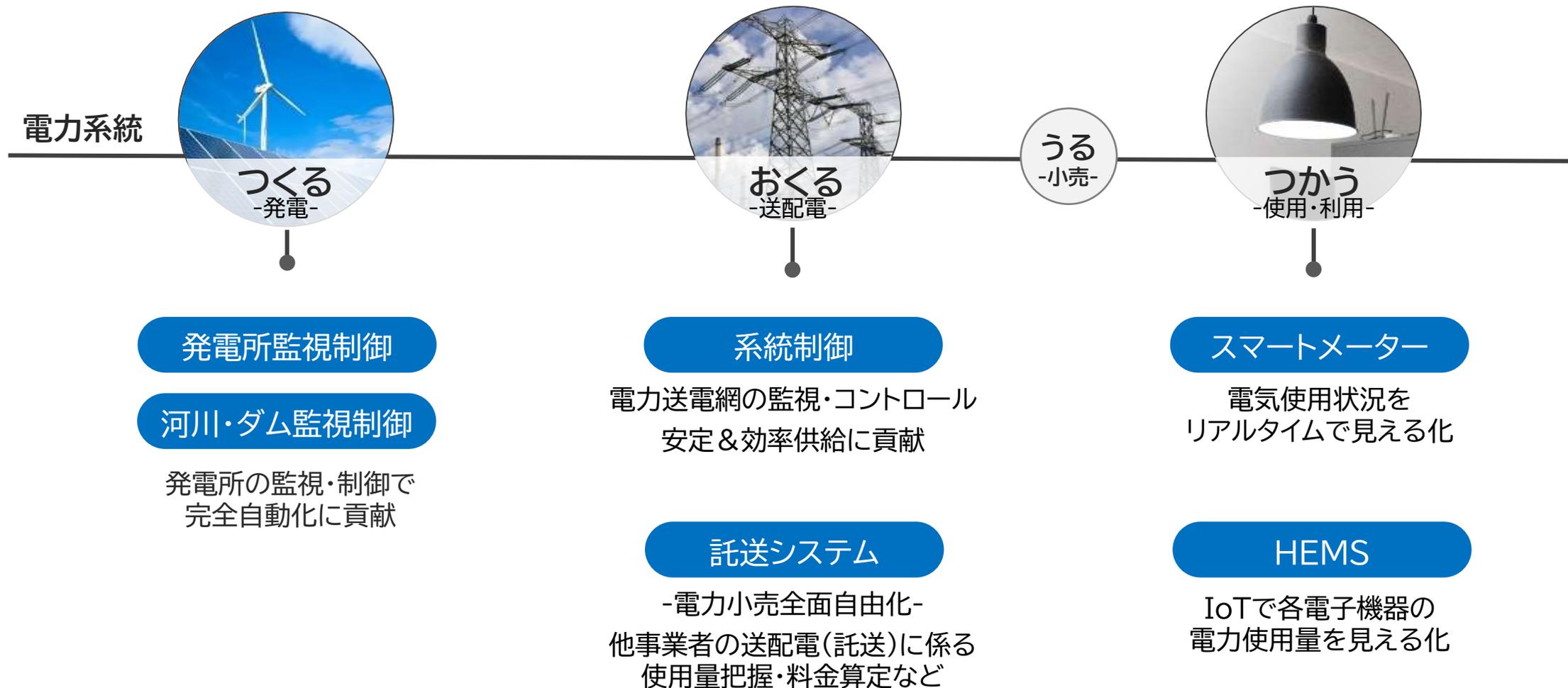
電力・ガス、鉄道、航空、宇宙、防災、5G通信など
人々の暮らしを支える「社会インフラ」領域におけるシステム開発



次世代自動車、医療、キャッシュレス決済、スマートファクトリーなど
最先端テクノロジーを駆使し、DX・IoTを実現

先進インダストリー事業

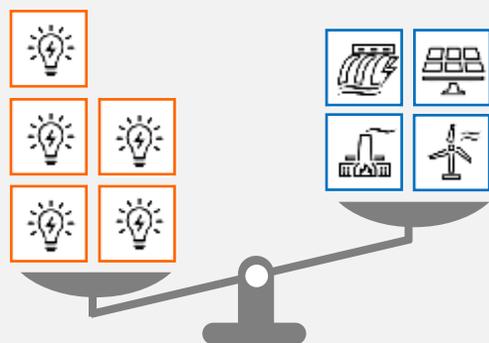
「つくる」「おくる」「つかう」すべての領域を対応



電力の安定供給には、システムの監視・コントロール(制御)が重要

電力を供給するには、需要と供給の一致(消費量 = 発電量)が不可欠
需給バランスが崩れると、電気の品質(周波数)が乱れて
最悪の場合「ブラックアウト(全域停電)」につながる

電力不足

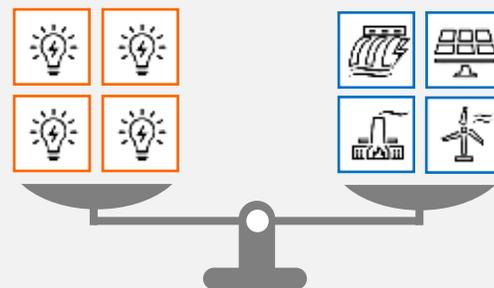


消費量

>

発電量

安定供給

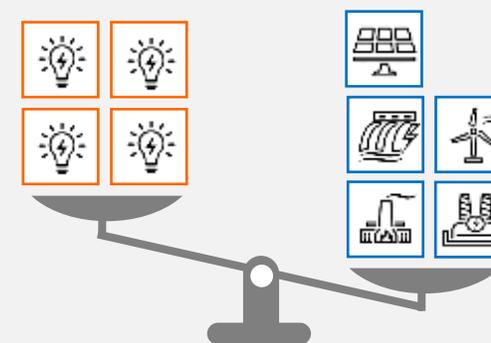


消費量

=

発電量

供給過多



消費量

<

発電量

新たな柱となるビジネスへの挑戦

NEW

需要家向け 新ビジネスへの挑戦・新プレイヤーとの共創 マイクログリッド／エネルギーマネジメント



スマートシティ



ショッピングモール



データセンター



工場

POINT

アライアンス／コンサルティング

分析・マネジメント

大手エネルギー会社向け 既存エネルギーインフラ次世代化

POINT

広域系統 次世代化対応

(設備、地域間電力融通、再エネマネジメント等)

つくる
-発電-

エネルギーバリューチェーン

おくる
-送配電-

うる
-小売-

POINT

データ利活用・新サービス

(スマートメーター等)

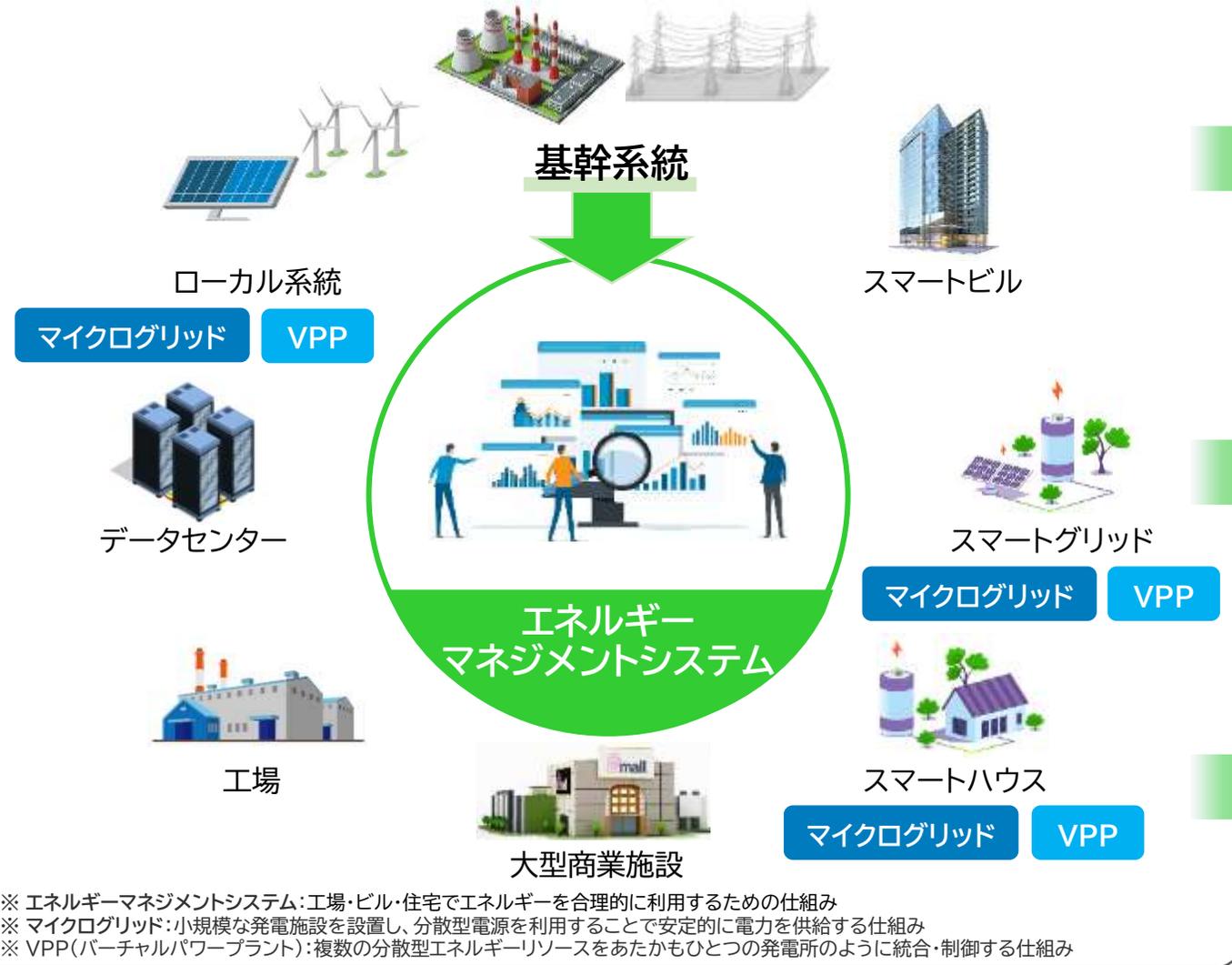
つかう
-使用・利用-

新時代のエネルギーマネジメントシステムで、お客様の課題解決に貢献

課題
01
サステナビリティ
の高まり

課題
02
エネルギー資源
価格の高騰

課題
03
災害の頻発
被害の甚大化



DX/GXによる
サステナブル経営の
実現

エネルギー
支出の削減

非常時の
レジリエンス強化

※ エネルギーマネジメントシステム:工場・ビル・住宅でエネルギーを合理的に利用するための仕組み
※ マイクログリッド:小規模な発電施設を設置し、分散型電源を利用することで安定的に電力を供給する仕組み
※ VPP(バーチャルパワープラント):複数の分散型エネルギーリソースをあたかもひとつの発電所のように統合・制御する仕組み

01 安定成長



- 幅広い領域での事業展開
- 電力分野を中心に安定成長

02 グローバルアライアンス



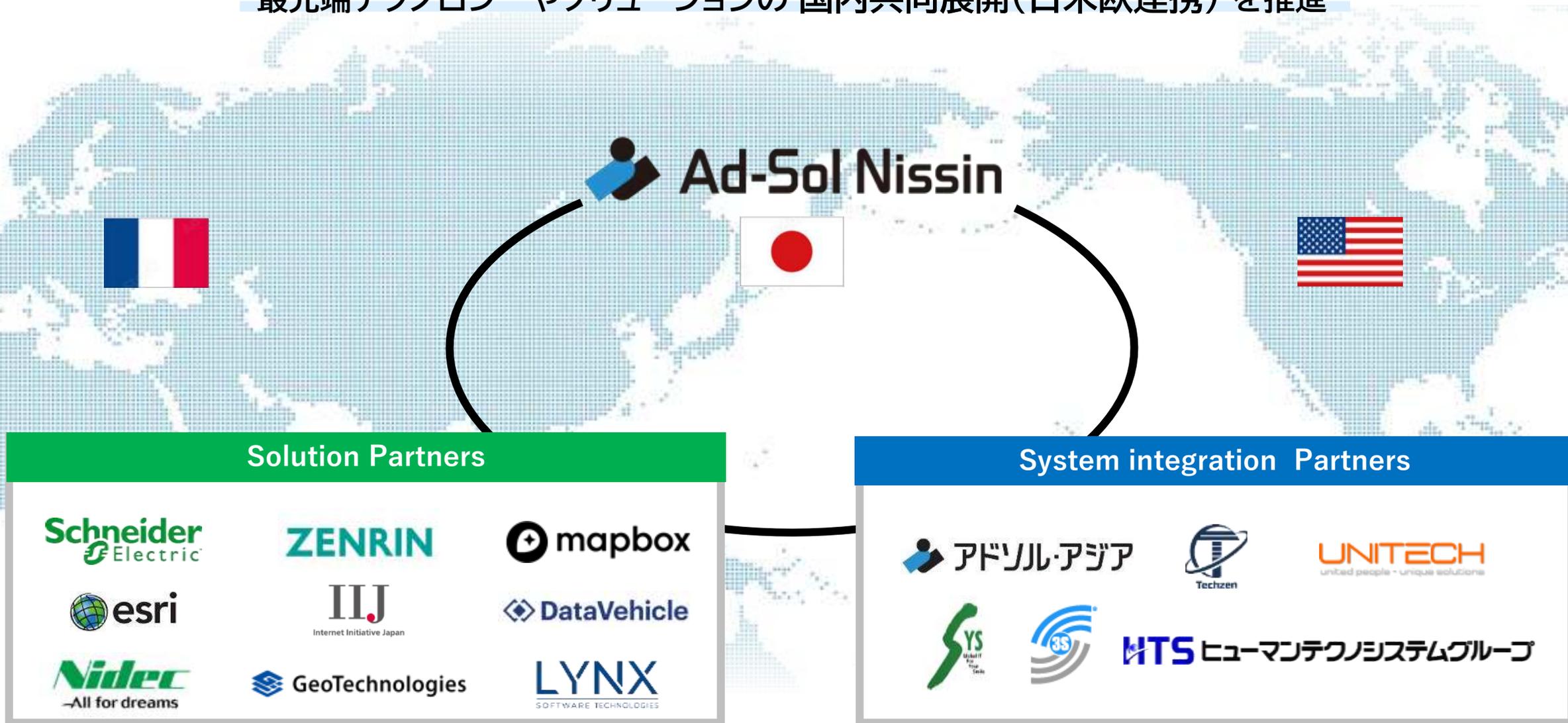
- ビジネス領域でのアライアンス
- ベトナムでの高度IT人材育成

03 累進・連続増配



- 15期連続増配
- 配当性向 40%以上

最先端テクノロジーやソリューションの国内共同展開(日米欧連携)を推進



成長事業「次世代エネルギー」につながる 「マイクログリッド」「エネルギーマネジメント」をテーマに共創を推進



- エネルギー&オートメーション グローバルメジャー
- 「世界で最も持続可能な企業 第1位」
(2021年 コーポレートナイフ Global 100 Index)

共創ビジネスの推進

2024年3月期 実績

今後の展望

インダストリーDX

大手製造業向け
DX・IoTソリューション共同提案



- ・ **共同受注 10 件超**
(製造業 / 住宅メーカー向け)
- ・ シュナイダー社のIoTソリューション
「EcoStruxure」対応領域拡大

- ・ 「EcoStruxure」を活用した
IoT統合プラットフォームの共創提案を加速
- ・ IoT統合プラットフォームと
アドソル日進オリジナルソリューションとの連携
(GIS:地理情報システム、IoT空間情報)

マイクログリッド / VPP / エネルギーマネジメント

エネルギー企業向けグローバル事例によるコンサルティング
ビル・データセンターのCO2削減・省エネ対応



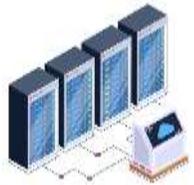
- ・ **エネルギーモニタリングシステム受注**
2025年3月期に本番稼働予定
(計測機器メーカー等)
- ・ 省エネ対応ビジネス 推進
(大規模データセンター等)
- ・ VPP・マイクログリッドの共同イベントを開催

成長事業「次世代エネルギー」につながる
エネルギーモニタリング / 制御システム 拡大
(データセンター / 自治体 / エネルギー会社等)

「マイクログリッド」「エネルギーマネジメント」共同展開を拡大

● 注力領域／セグメント

電力集約型拠点



データセンター



研究施設
(スパコン)

災害レジリエンス重要拠点



病院



自治体

● 共同展開に関する各種報道

- ガスエネルギー新聞 (2024年3月11日)



<https://adniss.jp/news/2024/03/newspaper20240311-gas-energy.html.html>

※ 当社ウェブサイトからご覧ください

- 電気新聞 (2024年3月12日)

- 新エネルギー新聞 (2024年4月9日)

<https://adniss.jp/news/2024/05/newenergy-news.html>

※ 当社ウェブサイトからご覧ください

● アドソル日進デジタル・イノベーション・ラボでの常設展示

共同展開するマイクログリッド及びエネルギーマネジメントソリューションのデモ機をアドソル日進に常設



IT人材大国ベトナムで、オフショア開発体制を構築



オフショア開発

ベトナム・ダナン開発センター

産学連携

アジャイル開発

1,000名体制へ!!

メタバース×教育システム

ベトナムのIT都市・ダナンで 高度IT人材育成 の取り組みを加速

テックゼン Techzen社 資本・業務提携

当社OBが設立したスタートアップ企業
アジャイル開発に強み

- 高度IT人材育成
- ダナン開発拠点の体制強化



▲ 事業規模は急拡大中

Techzen(テックゼン)会社概要

設立：2022年1月
代表：代表取締役社長 LE DUY LINH
(レ・ユイ・リン)
従業員数：55名(2024年4月現在)

ダナン大学 産学連携協定

高度IT人材の育成に向けて、ダナン大学内に「ITトレーニングセンター」を共同設立

- 日本でのICTシステム開発環境を再現したプロジェクトルームを完備
- アジャイル型開発をはじめ、最新の開発スキームをリアルに体験可能
- デジタル化された学習環境を整備し、当社社員が講師を務めるオンライン講座も開講



▲ 「ITトレーニングセンター」オープニングセレモニーを実施

ダナン大学(University of Da Nang)概要

・1994年、ダナン工科大学、ダナン語学教師養成大学、クアンナム-ダナン教育大学、グエン・ヴァン・トロイ職業技術大学の合併により設立。
・6加盟大学から構成、学生約50,000人、教職員約2,500人を誇るベトナム中部地区最大規模の国立総合大学。

リアルな就業体験！ITトレーニングセンターの設備



▲ Techzen社 プロジェクトルーム



▲ 共同研究ルーム



▲ トレーニングルーム



▲ テストルーム

01 安定成長



- 幅広い領域での事業展開
- 電力分野を中心に安定成長

02 グローバルアライアンス



- ビジネス領域でのアライアンス
- ベトナムでの高度IT人材育成

03 累進・連続増配



- 15期連続増配
- 配当性向 40%以上

株主還元強化に向け 配当方針 を変更

新・配当方針

「累進かつ連続増配」

(1円以上の増配)

「配当性向 40%以上」

「年2回(中間・期末)」

大幅増配!!

年間 50 円

(中間:25円、期末:25円)

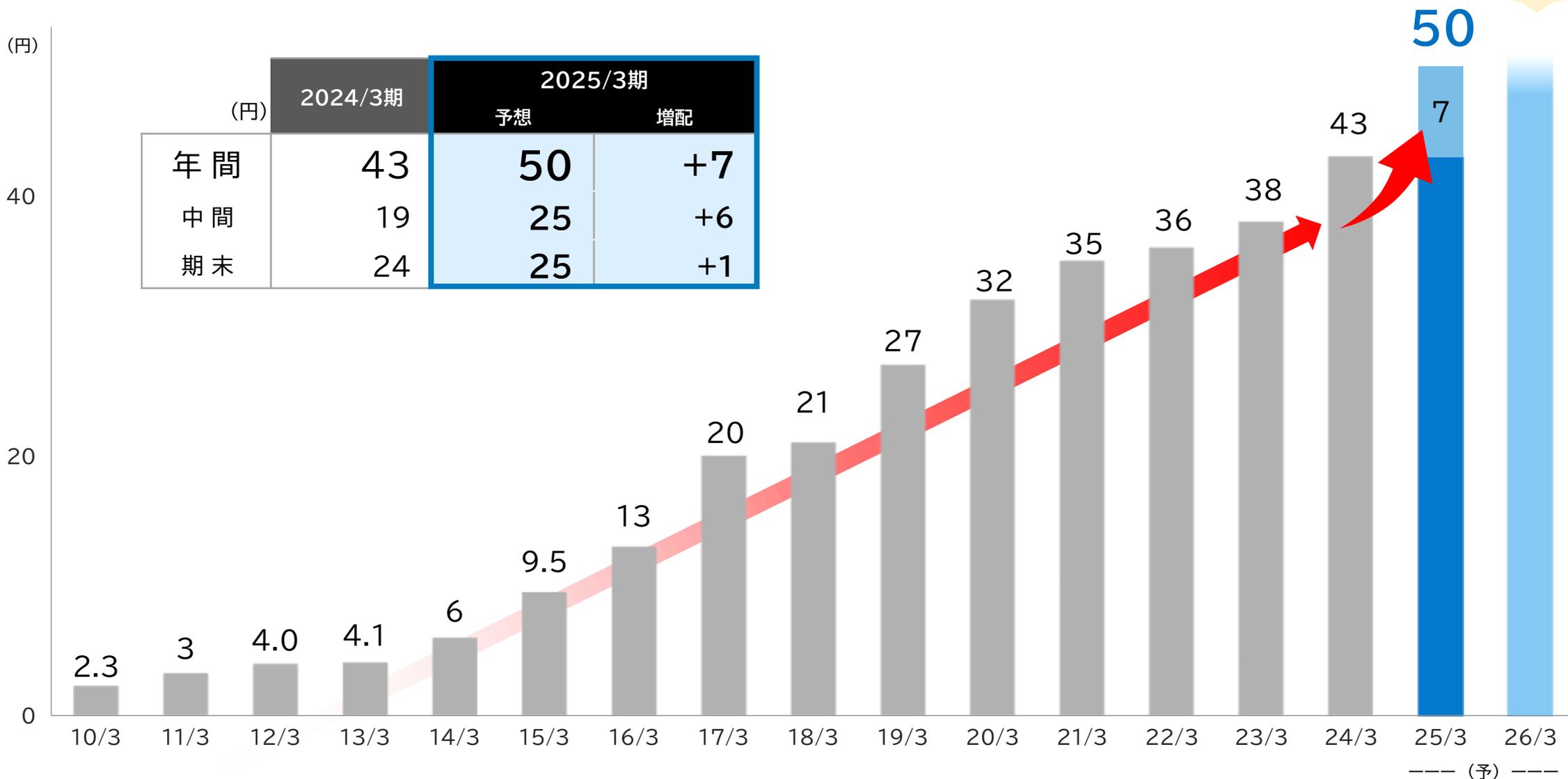
前期比 +7円

配当性向 46.2%

1株あたり配当金の推移

16期連続増配へ

創立
50周年



対象株主 & 時期

- ・ 実施回数
- 年2回（9月末/3月末の株主様）
- ・ 送付時期
200～4,000株
- 12月/6月にQUOカードを発送予定
- 4,000株以上
- 11月/5月にカタログを発送予定

優待内容

- ・ 200～4,000株
QUOカード（緑の募金付）を贈呈

200～1,000株	500円相当
1,000～2,000株	1,000円相当
2,000～4,000株	1,500円相当

◆ 保有期間特典

1年以上保有いただいている株主様に
QUOカードを年間2枚追加贈呈
※ 500円相当×2枚



- ・ 4,000株以上
3,000円相当の品からご希望に応じて贈呈
- QUOカード（緑の募金付）
- 株主優待カタログ
紀州梅 / みかんジュース / みかんゼリー / お米 等



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

01 安定成長



- 幅広い領域での事業展開
- 電力分野を中心に安定成長

02 グローバルアライアンス



- ビジネス領域でのアライアンス
- ベトナムでの高度IT人材育成

03 累進・連続増配



- 15期連続増配
- 配当性向 40%以上



(ご参考) 中期経営計画「New Canvas 2026」

	テーマ／方向性	目標／施策	24/3期 進捗
業績目標	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>最高業績 連続更新!!</u> 	2026年3月期 売上高 150 億円 営業利益 15 億円以上 営業利益率 10 %以上	 過去最高業績 営業利益率 中計目標達成
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>連続増配 継続!!</u> ・<u>配当性向 引き上げ!!</u> 	16 期連続増配へ / 配当性向 40 %以上	 14期連続増配 配当性向 40.9 %
事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>サステナブルな社会への貢献 (ESG/SDGs)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長事業① : 次世代エネルギー ・成長事業② : スマートインフラ/ライフ ・ベースロード : エンタープライズ DX/モダナイゼーション 	 注力領域の明確化
企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>企業価値・株主価値の向上</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資、人的資本、グローバル、R&D、サステナビリティ ・資本コストと株価を意識した経営に向けた計画の策定・実行 	 現状分析～計画策定へ

デジタル社会の“あした”をリードするイノベーションカンパニー

市場成長性・ニーズ

これから活用が進む情報
(オルタナティブデータ)

- ・宇宙・衛星データ、気象情報
- ・交通・人流データ
- ・機器稼働データ(IoTデータ)等

グリーン成長戦略



【カーボンニュートラル】

成長事業 ①

【次世代エネルギー】

次世代デジタルエネルギーシステムを通じた
新・バリューチェーン、安定供給、レジリエントへの貢献



成長事業 ②

【スマートインフラ／ライフ】

まちのデジタル化(都市OS)、デジタルデータでつながり
ひろがる暮らし、コミュニケーションへの貢献



【スマートシティ】

デジタル成長戦略

ベースロード

【エンタープライズ
DX／モダナイゼーション】

企業の業務効率化、ビジネス変革への貢献



既存の領域・技術
(社会インフラ事業、先進インダストリー事業)

事業収益性

新たな柱となるビジネスへの挑戦

NEW

需要家向け 新ビジネスへの挑戦・新プレイヤーとの共創 マイクログリッド／エネルギーマネジメント



スマートシティ



ショッピングモール



データセンター



工場

POINT

アライアンス／コンサルティング

分析・マネジメント

大手エネルギー会社向け 既存エネルギーインフラ次世代化

POINT

広域系統 次世代化対応

(設備、地域間電力融通、再エネマネジメント等)

発電

送配電

小売

使用・利用

エネルギーバリューチェーン

POINT

データ利活用・新サービス

(スマートメーター等)

スマートシティのインフラを担う3テーマに集中

「スマートシティ」全体のテーマ(当社作成)と当社が注力するテーマ

テクノロジー



教育



健康・医療・介護



地域活性化・観光



金融



都市計画・施設



防災・レジリエンス



行政



防犯・セキュリティ

テーマ
01

スマートレジリエンス



物流



交通・モビリティ

テーマ
02

スマートモビリティ



環境・エネルギー

テーマ
03

スマートエネルギー

次世代エネルギー



GIS:地理情報システム



宇宙・衛星データ



AI



IoT

Smart City

【中期経営計画「New Canvas 2026」】

2026年3月期～

～2030年

【5つの投資ポイント】

「人財」が
カギ !!

Point
01

ICTシステム開発 対応力強化

・海外オフショア強化 ・国内パートナー強化

Point
02

コンサルティング 対応力強化(人員増)

・上流工程へのシフト ・営業力、提案力強化

Point
03

エンジニアリング・サービス高度化

・PM・PMOシフト ・強み特化／業種特化

Point
04

プロダクト・サービス拡充

・ストック化 ・アセット化

Point
05

最新テクノロジー ビジネス適用

・データ利活用時代の新技术(AI等)

高付加価値を創出する

「ビジネス・フレームワーク」の確立

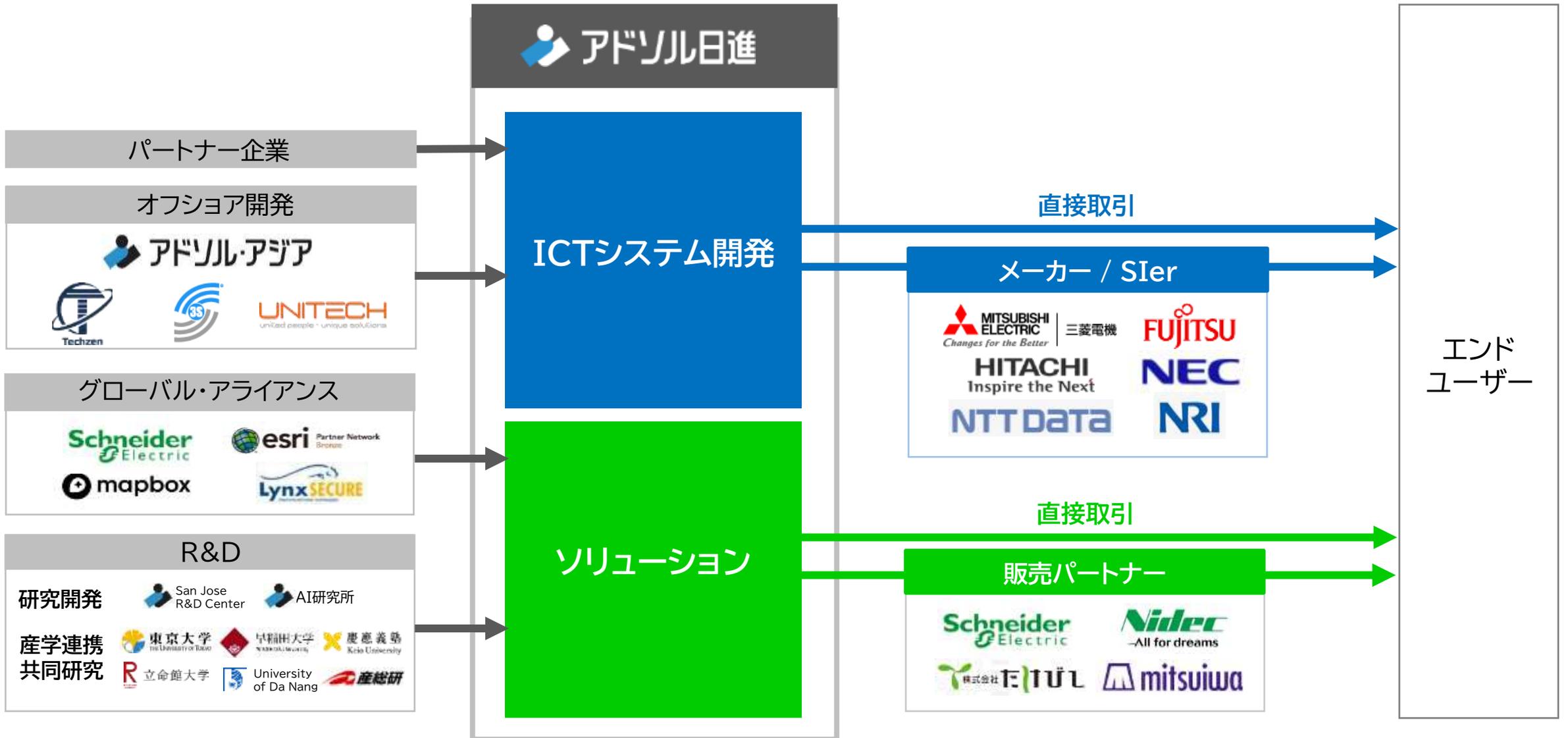


利益成長型
企業



Appendix

アライアンス・パートナーとの共創により高品質なICTシステムを提供



さらなる事業成長に向けて、新卒積極採用・育成による人員強化を図る

● 2024年4月 新卒採用

新入社員 **38**名が入社



▲ 2024年4月1日 入社式

- 【国立】 北海道、弘前、岩手、福島、東京、東京工業、電気通信、新潟、岐阜、大阪、九州工業、九州、熊本、鹿児島、琉球
- 【公立】 岩手県立、大阪公立
- 【私立】 慶應義塾、芝浦工業、上智、東海、東京理科、明治、早稲田、関西



2025年4月 新卒採用予定

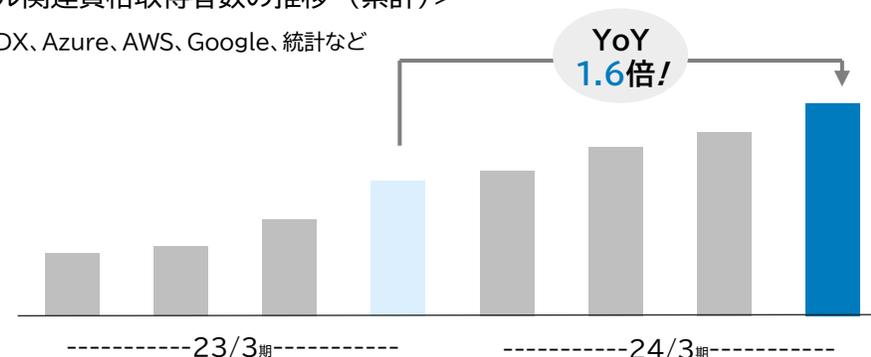
50名以上

● コンサルティング人材の育成

人事部門と人財開発センター(事業部)が共同で
社会インフラ企業のDX・デジタル化に応える
コンサルティング人材育成を加速

<デジタル関連資格取得者数の推移(累計)>

テーマ:DX、Azure、AWS、Google、統計など



● 処遇改定

社員エンゲージメント向上のため
全社員を対象とした処遇改定を実施

内容

- 全社員対象 : 平均6%
- 初任給 : 引き上げ(260,000円)

Point 01 サンノゼR&Dセンタ



米国・シリコンバレーでの最先端R&D

当社社員と米国エンジニアが連携し、最新テクノロジーの調査・研究を推進

IoTセキュリティのグローバルHQ

米国Lynx社と連携(30年以上)し、最先端IoTセキュリティソリューションの研究開発と、技術力強化に注力。日本国内のメーカーやインフラ企業への展開を全面的にバックアップ

Point 02 AI研究所



DXをAI技術からけん引

「先進AIテクノロジーの研究」「AIシステム構築の研究」「AI人材育成」などに注力

最先端のAI研究活動

国立研究開発法人:産業技術総合研究所のAI品質向上プロジェクトに参画。東京大学大学院工学系研究科と宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的とした共同研究を実施。「宇宙・衛星データ利活用」に関する新講座をテーマ設定～授業まで全面的にサポート

Point 03 産学連携



イノベーションと新テクノロジーの創出

産学連携・共同研究や学会活動等を通じて豊かな社会の発展に貢献

- 東京大学 : 宇宙・衛星データ利活用
- 早稲田大学 : EMS (エネルギー
マネジメントシステム)
- 慶応義塾大学 : GIS (地理情報システム)
- 立命館大学 : IoT、サイバーセキュリティ
- ダナン大学 : スマート大学の実現

Point 04 特許



独自技術の特許化を推進

「IoT空間情報」「地図情報」「セキュリティ」

競争優位性の強化・拡充に向け、取得した新技術や蓄積したノウハウなど、独自技術の知的財産化を推進

保有特許数: 23件(2024年3月末現在)

注意事項

- ・本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ・業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- ・本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川

TEL:03-5796-3131(代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp